ココロ

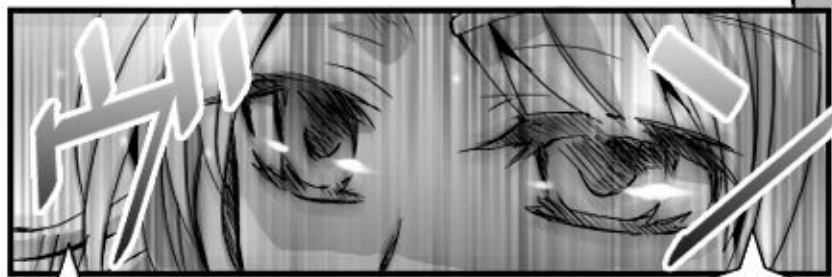
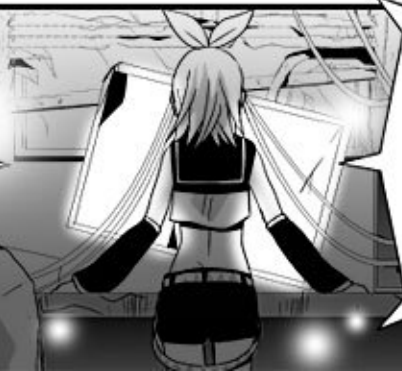
Original music

トラボルタP

まだ足りない
一つだけ出来ないいんだ
「心」と言うプログラム
「ココロ」
君に教えてあげたい
――理解出来マセン
喜ぶ事悲しむ事――
とても素敵な事だから…
うん
でもいつか――

孤独な科学者に
作られたロボット
おはよう
ドクン
出来栄えを
言うなら——
リン
ドクン

博士
朝デス 起キテクダサイ
シュッ
ハッ
いっ 今何時!?
ガバッ
七時半デス
二時間も うたた寝しちゃったか…
さて続き やるかなー…
ウタタ寝ジャナクテ チャント休ンデクダサイ
人間ニハ睡眠が 必要ダトインプット サレテマス
そうもいかないよ
一刻も早く 完成させたいんでね
君の 心
コト
何ヲデスカ?

知リタイ
アノ人ガ
命ノ
終ワリマデ
博士
ドウシマシタ
ゲホッゲホゲホ
いや…
大丈夫
何でもないよ
喀血シテマス
人間ノ場合
健康状態ガ
危惧サレマス

私ニ　作ッテタ　「ココロ」――
カタカタ
パパパ
ヴン
認証――VOCALOID 02 "RIN KAGAMINE"
ココロプログラムノ検索ヲ実行シマス

きっと奇跡が起こるよ――
ソウ言ッテ笑ッタ
アナタハモウイナイ
幾百年ガ過ギ
私ハ独リデ残サレタ

喀血ハ気道出血デアルタメ窒息ニヨル死亡ニツナガルコトガ
早急ニ処置ヲ――
――っ…
博士…
私ノ分析ニ何カ誤リガ…？
アナタハナゼ泣クノ？

――ン…
リン…

エラーガ
発生シマシタ
CV02ヨリ
未知ノ
ウイルスヲ検知
ウイルス…?
ソンナハズハ
ナイ
セルフスキャン
デハ問題ナイ
私ハ博士ガ作ッタ
〝奇跡ノロボット〟
ソウデスヨネ
博士――
博士…!
エラーハ正常ニ
修正サレマシタ
The third miracle starts...
ココロ
プログラム
インストール
開始シマス

きっと君に残酷なことをしてしまうんだろう
君を遺して…ずっと独りにしてしまう
ごめんリン…
でも言わせてくれ
ありがとう――

リン…
そこにいるかい？
ココロ
プログラムはね
完成するんだ
今は無理でも
遠い未来
ぼくが
死んだ後…
何らかの偶然が
重なって
奇跡が
起こるんだ――
君はあの時の
メッセージの意味が
解らなかっただろう
――メッセージヲ
受信シマス
発信元ハ
だけど確かに
未来ノ…
届いたから…
ああ
でも

ナゼか
ナミダが
止まらナい・・・
ナゼ 私
震える？
ドクン ドクン
ドクン ドクン
ーコレが
私の望んだ
「ココロ」？

ーアッ…!?
ナニ…?
ナゼ…

博士
フシギ
博士
博士
ハカセ
博士
ココロ
─ココロ─
はかせ…
ムゲン

フシギ
ココロ
ココロ
フシギ
私は知った
喜ぶ事を
フシギ
ボロッ…
ココロ
私は知った
悲しむ事を
ココロ
フシギ

今
気付き始めた

生まれた
理由を——

…
なんて
深く
切ない…

…なんて動機は大層なものだけど
今は君が生まれたことがただ嬉しいよ
僕はこの世界できっと君に救われている
………
風が出てきた
帰ろうか
しーん…
…やっぱり
まだ手は取ってくれないかぁ

きっと独りは
寂しい…
人は滅ぶ
それはもう止められないから
僕は人が創った「歌」という遺産を残したかったんだ
危機的状況ノ場合人間ハ通常種ノ存続ヲ優先シマスガ…
DNAの保存とかはとっくに他の専門家がやってるさ
音楽は言葉を超えて分かち合える素晴らしい文化だ
歌を伝える遺産…
それが君だよ
“VOCALOID”（リン）

全ての記憶に
宿る「ココロ」が
溢れ出す・・・

アリガトウ・・・
この世に私を
生んでくれて
アリガトウ・・・
一緒に過ごせた日々を

今
言える
本当の言葉・・・
ブゥンッ
Massage Se
From
Rin
To
Rin
捧げる
あなたに――

永遠に歌う

――私はあなたの手を握ることもできずに
何も言えずに…
伝エラレナカッタ…
――そう
あの日…あの時
コノココロカラ…

パキイイン…

"ココロ"を手に入れた
ロボットは歌い続けました。
The message was transmitted...!
思いを全てを。
しかし、 その奇跡もつかの間。
"ココロ"は彼女には
あまりにも大きすぎました。
その大きさに耐えられず
機械はショートし
バチッ
バチン...
二度と動く事はありませんでした。
――しかし、 その表情は笑顔に満ち溢れ

アリガトウ・・・
アリガトウ・・・
あなたが私にくれた全て
アリガトウ・・・

――――まるで天使のようでした――――

……アリガトウ……
———それはまさに奇跡でした。